

ハ、御渡ニ可有之此段申入候也八月廿五日

三月廿四日
大蔵省へ達

内務省中測量司雇英國人クロックシヤンク死去ニ付醫藥并埋葬料トシテ一ヶ月分給料金百五拾圓下賜候條此旨相達候事内務

内務省届

測量司雇入英人アレキサントル、セークラツクシヤンク儀身心疲勞ノ症ニテ去月廿三日死去致候趣申出候間此段及御届候也三月八日 内務

内務省伺セキニウキテ
目

當省所轄測量司へ昨明治六年御雇相成候英人クロックシヤンク儀此程中ヨリ病氣ノ害養生不相叶今般死去致候然ル處右ハ雇中格別勉勵海外於テ獨身

客死仕候儀ニテ實ニ懸然ノ次第ニ有之尤別紙ノ通條約
中疾病ノ節ハ醫藥給與可致ト有之候間官負免職病
死ノ節賜物ノ振合ヲ以テ醫藥並埋葬料トシテ一ヶ
月分ノ給料金百五十圓特別ノ譯ヲ以御給與相成度
此段至急奉伺候也 三月十二日 内務
伺之趣聞届候事 三月廿四日

千八百七十三年五月十二日日本測量司御雇師長代理
ヘニリハトソシヨイ子ル工部全權ノ命ヲ受ケシ
ニ代リテ東京在留クロツクシヤニクト條約ノ件々
尤ノ如シ

第一條 クロツクシヤンク己ニ測量書記役ノ職掌
ヲ蒙ルニ付テハ一ヶ年間其給料毎月百五十圓ツ、
ヲ以テ月々相渡スヘシ

目録
陸軍省令
第百一十二号

第二條 若シクロツクシヤンク不法亂肆或ハ其他
不行跡ノ儀有之或本條約ノ箇條ヲ犯候節ハシヨイ
子ル或ハ師長直ニ同人ヲ黜職スルトモ其持權タル
ヘシ

第三條 同人雇入中ハ日本政府ヨリ相當ノ寓居ヲ
與ヘ若シ病氣ノ節ハ醫藥等ノ儀之ヲ給與スヘシ尚
又醫官ノ証書ナク代理シヨイ子ル或ハ師長ノ許可
ナク闕席スヘカラサル事

第四條 同人儀都テシヨイ子ル或ハ師長ノ指圖ニ
從精々書記役ノ職掌ニ勉勵スヘキハ勿論時々布達
スル所ノ指令等固ク相守リ始終其職務ニ注意シ書
類ハ舛裁正シク之ヲ編輯シ将来檢閱ニ便ナラシム
ヘキ事

第五條 同人儀シヨイ子ル或ハ師長ノ許可ヲ得ス
シテ其職務ヲ欠ク可ラサルハ勿論病氣災變等ノ節
モ醫官証書シヨイ子ル或ハ師長ノ許可アルニ非ス
シテ欠勤スル片ハ其度毎ニ罰金トシテ五圓ノ高ヲ
出スヘシ又雇入中自己ノ便宜ヲ以高法等ノ吏ヲ謀
ルヘカラサル事

右條約ノ件々雙方此ニ調印シ以テ以テ他日ノ証ト
ス内務

日本政府代理人測量師長マコヒ
シ歸英中代理

千八百七十三年
ヘシリハトソンシヨイ子ル印

五月十二日
クロツクシヤンク印

千八百七十三年五月十二日日本測量司雇入測量師
長代理ヘシリハトソンシヨイ子ル工部全權ノ命ヲ

受ケシレニ代リテ當時東京在留アレキサンドル、ア
イ、クロツクシヤンクト契約セル條約ノ件々を、如
シ

第一條 クロツクシヤンク儀書記役ノ職掌ヲ以テ
一ヶ年間雇入ル、上ハ日本政府ヨリ其給料百五十
圓ツ、月毎ニ同人ヘ相渡スヘシ

第二條 若シクロツクシヤンク不法亂醉或ハ其他
不行跡ノ儀有之或本條約ノ個條ヲ犯シ候節ハシヨ
イ子ル或ハ師長或ハ其職ヲ襲ク者直ニ同人ヲ黜職
スルノ權ヲ有ス

第三條 同人雇入中ハ日本政府ヨリ相當ノ寓居ヲ
與ヘ若病氣ノ節ハ診察料ヲ給與スヘシ

第四條 同人儀都テシヨイ子ル或ハ師長其職ヲ襲

ク者ノ指圖ニ從ヒ精々書記役ノ職掌ニ勉勵スヘキ
ハ勿論時々相連スル零ノ諸令等固ク相守リ始終其
職務ニ注意スヘシ

第五條 同人儀シヨイ子ル或ハ師長或ハ其職ヲ襲
ク者ノ許可ヲ得スシテ其職務ヲ欠クヘカヲサルハ
勿論病氣或ハ不虞ノ變ニ遇フ等ノ節モ鑒官ノ證書
シヨイ子ル或ハ師長或ハ其職ヲ襲ク者ノ許可ナク
シテ欠勤スヘカラス

第六條 前條ノ如ク鑒官ノ證書シヨイ子ル或ハ師
長或ハ其職ヲ襲ク者ノ許可無クシテ職務ヲ欠クハ
ハ欠勤ノ日毎ニ罰金トシテ五圓ノ高ヲ出スヘシ又
雇入中自己ノ便宜ヲ以高法其他ノ事ニ關係スヘカ
ラサル事

右條約ノ件々双方此ニ調印シ以他日ノ証トス 内務

千八百七十三年七月四日

ヘンリー・ハトソン、シヨイ子ル

アレキサンデル、アイ、クロックシヤンク

証人

ダブリュ、イ、チー、ス、メン

庶務課議按 元院內務課歴査

内務省伺測量司御雇英人病死ニ付官負病死ノ振合
ヲ以鑒藥并埋葬料トシテ一ヶ月分ノ給料給與ノ儀
ニハ相當ノ零分ニ可有之目テ御指令按氏相伺候也
三月十九日 内務

元院財務課議按

本議英人病死ニ付賜金ノ儀ハ是迄の例ニ無シ官負
免職ノ振合ニ據リ候ヘハ滿一ヶ年ニテ半ヶ月分ノ
俸ヲ可賜答然ルニ右英人ハ未一ヶ年ニモ不滿殊ニ

冊正類典

全月分ノ俸ヲ賜リ候儀ハ如何可有之哉将来ノ規則ニ関シ候儀ニ付先以條約面ノ通鑒藥料ノ給與致シ候方可然存候也 内務

九月三日 七年

開成學校教授佛人マイヨ病テ死ス金若干ヲ追賞ス

文部省 届

東京開成學校物理學化學博物學教授トシテ佛人マイヨ東ル八年七月廿三日マテ御雇相成候所先頃中ヨリ病氣罷在去月十四日死去イタシ候右同人儀ハ明治四年七月御雇入以來教導方格別勉勵致シ生徒進歩ノ效判然相顯候者ニテ方今佛學專門科生員輩出候モ同人ノ誘掖ニ由リ候儀不少仍テ埋葬費用ニ供シ候意ヲ以右賞譽トシテ金三百五十圓差遣シ候此段御届申候也 九月三日 文部